

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1,210		1,208		1,208	
備蓄米	0		0			
飼料用米	278		275		280	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	0		1		1	
加工用米	107		108		110	
麦	70		72		75	
大豆	373	31	380	32	385	35
飼料作物	27	15	30	16	34	18
・子実用とうもろこし	10		11		12	
そば	15	8	16	8	18	9
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0		0		0	
高収益作物	97		100		108	
・野菜	88		91		98	
・せり	17		17		18	
・えだまめ、ねぎ	8		9		12	
・その他野菜	64		65		68	
・花き・花木	6		6		7	
・果樹	3		3		3	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他						
・〇〇						
畑地化	0		3		10	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦、大豆 （基幹作）	作業集積加算 （麦、大豆）	取組面積及び10a当たりの収量	（令和5年度） 麦58ha（284kg） 大豆329ha（151kg）	（令和8年度） 麦63ha（335kg） 大豆332ha（170kg）
2	大豆（種子用大豆は除く）、そば、 飼料作物（別表3）	二毛作助成	取組面積の目標 戦略作物面積のうち二毛作の割合	（令和5年度） 52ha（13%）	（令和8年度） 65ha（17%）
3	飼料用米生産ほ場の稲わら （基幹作）	耕畜連携助成 （わら利用）	飼料用米作付面積 耕畜連携稲わら利用取組面積	（令和5年度） 277ha 210ha	（令和8年度） 283ha 225ha
4	せり（基幹作）	地域振興作物助成 （せり）	地域振興作物の作付面積	（令和5年度） 16.2ha	（令和8年度） 16.7ha
5	えだまめ、ねぎ（基幹作）	地域振興作物助成 （えだまめ、ねぎ）	地域振興作物の作付面積	（令和5年度） 5.2ha	（令和8年度） 6.3ha
6	せり・えだまめ・ねぎを除く野菜、 花き・花木（基幹作）（別表6）	地域振興作物助成 （せり・えだまめ・ねぎを 除く野菜、花き・花木）	地域振興作物の作付面積	（令和5年度） 24.8ha	（令和8年度） 32ha
7	子実用とうもろこし（基幹作）	子実用とうもろこし収益力 向上助成	取組面積及び10a当たりの収量	（令和5年度） 0ha	（令和8年度） 14ha 570/10a
8	そば、なたね、新市場開拓用米（基 幹作）	【国枠】そば、なたね、新 市場開拓用米助成	そば、なたね、新市場開拓用米作 付面積	（令和5年度） 6.7ha	（令和8年度） 7.8ha
9	地力増進作物（基幹作）（別表8）	【国枠】地力増進作物助成	地力増進作物作付面積	（令和5年度） 0ha	（令和8年度） 1.2ha
10	新市場開拓用米	【国枠】新市場開拓用米の 複数年契約	複数年契約取組面積	（令和5年度） 0ha	（令和8年度） 1.2ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

新様式(公表用)

7 産地交付金の活用方法の概要
 都道府県名:宮城県
 協議会名:名取市水田農業推進協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	作業集積加算(麦、大豆)	1	8,000(追加配分時の上限単価15,000)	麦、大豆(基幹作)	出荷販売契約を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと
2	二毛作助成	2	9,000(追加配分時の上限単価15,000)	大豆(種子用大豆は除く)、そば、飼料作物(別表3)	戦略作物助成の対象となる作物の作付地における戦略作物の作付に取り組むこと
3	耕畜連携助成(わら利用)	3	4,000(追加配分時の上限単価15,000)	飼料用米生産ほ場の稲わら(基幹作)	畜産農家との間に飼料用米生産ほ場の稲わらを飼料とする利用供給協定を締結し、飼料用米生産ほ場の稲わらを飼料として提供すること
4	地域振興作物助成(せり)	1	7,000(追加配分時の上限単価13,000)	せり(基幹作)	せりを生産及び出荷・販売すること
5	地域振興作物助成(えだまめ、ねぎ)	1	7,000(追加配分時の上限単価11,000)	えだまめ、ねぎ(基幹作)	えだまめ、ねぎを生産及び出荷・販売すること
6	地域振興作物助成(せり・えだまめ・ねぎを除く野菜、花き・花木)	1	6,000(追加配分時の上限単価11,000)	せり・えだまめ・ねぎを除く野菜、花き・花木(基幹作)(別表6)	せり・えだまめ・ねぎを除く野菜、花き・花木を生産及び出荷・販売すること
7	子実用とうもろこし収益力向上助成	1	7000(追加配分時の上限単価10,000)	子実用とうもろこし(基幹作)	子実用とうもろこしを生産及び出荷・販売すること 別表7の取組メニューの内、1つ以上取り組むこと。
8	【国枠】そば、なたね、新市場開拓用米助成	1	20000円/10a	そば、なたね、新市場開拓用米(基幹作)	需要者等との出荷・販売契約等を締結し、生産・出荷・販売を行うこと うち、新市場開拓米については、生産者側(生産者又は生産者団体のいずれか)と需要者側(需要者又は需要者団体のいずれか)の契約であること
9	【国枠】地力増進作物助成	1	0円/10a(上限単価20,000円/10a)	地力増進作物(基幹作)(別表8)	需要者等との出荷・販売契約等を締結し、生産・出荷・販売を行うこと
10	【国枠】新市場開拓用米の複数年契約	1	10,000円/10a	新市場開拓用米	生産者側(生産者又は生産者団体のいずれか)と需要者側(需要者又は需要者団体のいずれか)の契約であること

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
 ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

名取市水田農業推進協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠(A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
名取市水田農業推進協議会	47,723,000	47,723,000	47,685,600

(別表3) 飼料作物等の範囲

青刈りとうもろこし
子実用とうもろこし
青刈りソルガム
テオシント
スーダングラス
青刈り麦(らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。)
青刈り大豆
子実用えん麦
青刈り稲
WCS用稲
わら専用稲
青刈りひえ
しこくびえ
オーチャードグラス
チモシー
イタリアンライグラス
ペレニアルライグラス
ハイブリットライグラス
スムーズブロムグラス
トールフェスク
メドーフェスク
フェストロリウム
ケンタッキーブルーグラス
リードカナリーグラス
バヒアグラス
ギニアグラス
カラードギニアグラス
アルファルファ
オオクサキビ
アカクローバ
シロクローバ
アルサイククローバ
ガレガ
ローズグラス
パラグラス
パンゴラグラス
ネピアグラス
セタリア
飼料用かぶ
飼料用ビート
飼料用しば

(別表6) 産地交付金の活用方法の明細(個票)

地域振興作物一覧表

名取市水田農業推進協議会

作物番号	分類	作物名	作物番号	分類	作物名
1	野菜	キャベツ	24	野菜	おくら
2	野菜	たまねぎ	25	野菜	パセリ
3	野菜	にんじん	26	野菜	しそ
4	野菜	いちご	27	野菜	にんにく
5	野菜	はくさい	28	野菜	にら
6	野菜	ブロッコリー	29	野菜	みょうが
7	野菜	ほうれんそう	30	野菜	ウルイ
8	野菜	モロヘイヤ	31	野菜	こまつな
9	野菜	キュウリ	32	野菜	ズッキーニ
10	野菜	トマト	33	野菜	キクイモ
11	野菜	なす	34	野菜	ベビーリーフ
12	野菜	ピーマン	35	野菜	赤しそ
13	野菜	カボチャ	36	花き・花	きく
14	野菜	メロン	37	花き・花	けいとう
15	野菜	レタス	38	花き・花	ハス
16	野菜	さといも	39	花き・花	その他花き・花木※1
17	野菜	れんこん	40	野菜	その他野菜※2
18	野菜	だいこん			
19	野菜	青さやインゲン			
20	野菜	未成熟とうもろこし			
21	野菜	食用ばれいしょ			
22	野菜	食用かんしょ			
23	野菜	アスパラガス			

(その他の品目名)

※1 その他花き・花木:カーネーション、バラ、綿花、ヒイラギ、ツゲ、フプレリウム、キリシマ、サツキ、グラジオラス、トルコギキョウ、キイチゴ、ボケ

※2 その他野菜:カリフラワー、チンゲンサイ、ゆきな、そらまめ、おおば、かぶ、グリーンピース、さやえんどう、しゅんぎく、スナップエンドウ、つぼみ菜、つるむらさき、なばな、クレソン、ゴーヤ

(別表7)

子実用とうもろこしの収量増大及び品質向上に向けた取り組みメニュー一覧

No.	取組メニュー	内容	確認書類等
1	排水対策	心土破碎、弾丸暗渠、有罪補助暗渠、無材穿孔暗渠、深耕、額縁明渠	作業日誌、写真等
2	均平作業(傾斜均平)	レーザーレベラーやGPSレベラーを用いた均平作業	作業日誌、写真等
3	退避の施用	家畜排せつ物の堆肥の利用 ・畜産農家から供給される堆肥の利用	作業日誌、購入伝票等
4	効果的な施肥	適切な追肥の実施 ・4～7葉期の追肥や追肥時の窒素の増肥	作業日誌、購入伝票等
5	農薬によらない病虫害対策	耕種的防除等の取組 ・病虫害抵抗性品種の利用、前作の作物残渣の撤去、病虫害の発生源となる雑草の除去等の耕種的防除のうち、いずれかに取り組むこと	作業日誌、写真等
6	生物農薬の活用	有害生物の防除に生物農薬(BT剤)の活用	作業日誌、購入伝票等
7	難防除雑草対策	薬剤によるイチビ、アレチウリ、ワルナスビ、帰化アサガオ類等の防除	作業日誌、写真等
8	化学肥料の使用量削減	堆肥利用等により、化学肥料の使用量の30%以上削減 ・化学肥料の使用量を地域の慣行レベルと比べて30%以上削減すること	作業日誌等
9	化学農薬の使用量削減	総合的な防除体系の確立等により化学農薬の使用量の50%以上削減 ・化学農薬の使用量を地域の慣行レベルと比べて50%以上削減すること	作業日誌等
10	スマート農業機器の活用	ドローンや収量コンバイン等の活用 ・ロボット、AI、IoTなどの先端技術を活用したスマート農業機器・システムを使用すること	作業日誌、写真等
11	土層改良	耕土の確保や土層の機能改善のための客土又は除礫の実施	作業日誌、写真等

(別表8)地力増進作物等の範囲

イタリアンライグラス
ソルガム
れんげ
えん麦
青刈りトウモロコシ
ギニアグラス
スーダングラス
アカクローバー
アルサイククローバー
ベッチ
ペルコ
カラシナ
レバナ
はぜりそう
マリーゴールド
ひまわり
キガラシ
ステビア
ナタネ
ハイオーツ
ライ麦